



Title	沖縄関係23 (米国民政・軍用資産引継調査・交渉) (電話連絡 (上院外交委聴聞会) 米国議会 (上院審議) 北米 3840 外務省外交史料館レファレンス番号: H223636)
Author(s)	-
Citation	平成22年度外交記録公開(4)No.8 公開日: 平成23年2月18日 外務省外交史料館管理番号: 2011-0026 CD・DVD番号: H22-021
Issue Date	
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43741
Rights	外務省外交史料館所蔵資料

○ 米国議会 (上院審議) 15年1月 3840

電話連絡 (上院外交本部職員会)

局長

上院外交委員閣下

(10月25日)

46. 10. 25

米北1

本内容有るより電話連絡概略次
とスリ。

1. 時間 10:00 ~ 11:45分

パナマ (田) 防衛、リバー 参事

が証言。

ブルック、スニーク、ティント、

スニーク、クーパー、ジャグ、ヒュー

各出席。(米北大使も借聴)

ヒューは昨日より米北大使に

対し、「沖縄協定は大丈夫、心配なし」

と述べた。

2. 一問一答の内容次とスリ。

右
に
記
す

(1) ブルック委員より、沖縄基地の

機能に關する質問。パナマは

「太平洋全体のコンテナスにスニーク
西

はいい」と述べ、リバーは「主として

兵站機能である」と回答。

(2) ブルックより、沖縄基地の重要性に關する
質問。

(リバー)

パナマより、現状では是非を必要

と回答を述べた。

(3) 企業の問題... リバーは略す。

(4) スニークより、米軍撤退の問題に關する

質問。パナマは「not much」と

答へ、自己防衛 3,500人 配備、

(リバー)

那覇空港から撤退あり(リバー)

relocation の問題は未解決) と回答。

(5) 7-10-57、在沖米軍の今後増強
24日ニシテ答リカトイフニシテ。

11-7-57、右の状況の assessment
ニシテ答リカトイフ。

(沖米に核兵器、在米に核兵器の2種とイフ)

(6) 7-11-57 nuclear secrecy に
ツキ前日、ロジャ-2 委員ニシテ答リカトイフ。

再記。

ニカニシテ、11-7-57 核の存在に

7-11-57 confirm to deny to discuss to
シテ答リカトイフ。上、上、上

沖米に核兵器は、後日答リカトイフ
答リカトイフニシテ、明確に回答。

(7) 7-17-57、種々の金額にツキ答リカトイフ。(0)

(8) 7-10-57、台湾の重要性にツキ答リカトイフ。

11-7-57 米軍の今後増強
今後の assessment にツキ答リカトイフ。

(9) 7-2-57 ミクロネシアへの進出にツキ答リカトイフ。

11-7-57、具体的に答リカトイフ。

を包含、決定は7-2-57 24日ニシテ、
詳細は内務省に用いられたいと回答。

(7-11-57 核兵器の存在の存在
論にツキ答リカトイフ。上、上、上)

7-2-57 米軍の今後増強、11-7-57、7-17-57
ルイジアナ、ミズーリ、及び他の州への進出、

中国への進出 (共同の進出と見做す) にツキ答リカトイフ。
の公明会から行われたいと答リカトイフ。